

2020年度

北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（後期）

（口述試験その他）行動科学研究室・英語文献読解等 全4枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 4枚、解答用紙 4枚を配付する。

問1～問3までのすべての問に答えなさい。各問に対する解答は、最初に問番号を明記した上で、別々の解答用紙に記入すること。

問1 以下の英文は、ある研究論文の結果の一部である。これを読んで、後に続く1)～3)の3つの問いに答えなさい。

*** 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。**

出典：Eskine, K. J., Kacirik, N. A., & Prinz, J. J. (2011). *Psychological Science*, 22(3), 295-299.

doi:10.1177/0956797611398497

- 1) 本研究は何を検討することを目的として行われたものか。独立変数と従属変数を指摘しつつ説明しなさい。
- 2) 従属変数の実験条件間の差に関する結果の概要を簡潔に説明しなさい。また各条件の平均のおおよそのパターンを、自作したグラフに図示しなさい。（注：原典の文中に表示されていた平均値は削除してあるので、文章から読み取れる内容と矛盾のない範囲で推測して描くこと。）
- 3) 回帰分析ではどのような結果が得られたか。またその結果は何を意味していると著者は述べているか。説明しなさい。

次のページに進む

問2 以下はある研究論文の要約の一部を日本語に翻訳したものである（注：一部意識もしくは改変）。これについて、下線部の日本語で書かれた部分を英語に再翻訳しなさい。

* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典：Rogers, R. W., & Ketchen, C. M. (1979). *The Journal of Psychology*, 102(1), 13-19.

doi:10.1080/00223980.1979.9915089

[次のページに進む](#)

問3 以下の1)と2)の二つの英文を、いずれも日本語に逐語訳しなさい。

1)

* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典：Blumstein, D. T., Williams, D. M., Lim, A. N., Kroeger, S., & Martin, J. G. A. (2018). *Proceedings of the Royal Society B: Biological Sciences*, 285(1871), 20171934. doi:10.1098/rspb.2017.1934

[次のページに進む](#)

(問3 続き)

2)

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典：Carnagey, N. L., Anderson, C. A., & Bushman, B. J. (2007). *Journal of Experimental Social Psychology*, 43(3), 489-496. doi:10.1016/j.jesp.2006.05.003

以上